



# 除菌・消毒を欠かさずに

【48】

医療センターの

教えて、

先生!



Q 公共の場のトイレ利用について感染症が怖いと思うようになりまし。どのようなことに気を付けると良いでしょうか。(会津若松市 女性 69歳 M・Wさん)

A 感染症がまだ完全に収束しない中で飛沫感染、接触感染の予防はしっかりされていると思います。ほかにもトイレを介した糞口感染(ノロウイルス、腸

## 公衆トイレ利用、感染症怖い

管出血性大腸菌O-157などの腸管感染症)があり、ふん便中の病原微生物が手指を介して口の中に入ることを言います。

耳慣れない言葉ですが、排便は、せき、くしゃみとともに病原微生物が拡散する経路です。感染者が使用したトイレの周辺では新型コロナウイルスが多数検出される報告もあります。

トイレは複数の人が共用するので、きれいに見えても衛生的とは限りません。排便後にお尻を拭く時は、直接触れないようにしても、病原微生物はトイレットペーパーを貫通し、手に移ります。便座にも付着しています。水栓レバーやトイレのふた、ドアノブを手で触れることで簡

単に広がります。流す時には病原微生物を含んだ排せつ物から多くの飛沫が空気中に拡散され、狭くて換気の悪い内部にとどまります。

トイレでは簡単に口や鼻から人の体内に侵入し、感染の原因となります。飛沫を避けるためにふたをしてから流すようにし、換気を十分に行い、使用前には触れる箇所の除菌、消毒(部品が傷まない場合)、使用後は手洗いなどの対策を心がけましょう。

(感染症・呼吸器内科学講座教授 久米裕昭)

【原則毎月第2日曜日、福島医大会津医療センターの協力で掲載します】